

一緒に絵を描こう!(主催:厚木市)

19才以下の厚木市民募集

「自分にとって大切な人は誰?」「平和って?」「幸せって?」などを考えながら、 絵を描いてみませんか? 大人の画家達(あつぎキッズゲルニカ実行委員会)と話しな がら。

これは、国際的アートプロジェクト。主役は、19歳以下の市民です。お友達も増えるでしょう。



ファッションデザイナー髙田賢三氏が2017年、ウクライナを訪問。その際、30人程の子供達が描いたキッズゲルニカ



空爆の様子をピカソが描いたゲルニカ。「あぁぁ~!!!」の表情を笑顔に置き換えたら、どうなる?

問合せ先

- 厚木市福祉総務課 - 046-225-2200 - 又は、ayersrock@ymail.ne.jp(実行委員会)





『ゲルニカ』から『キッズゲルニカ』へ 〜地球と子どもたちの未来のために〜

『ゲルニカ』とは

ゲルニカへの無差別爆撃

スペイン北部のゲルニカは1937年、ドイツ空軍による無差別爆撃を受け、壊滅的被害を受けた。この爆撃は焼夷弾が本格的に使用された世界初の空襲であり、「史上初の無差別空爆」と言われる。

この爆撃は、敵国民の戦意をそぐために行われる戦略 爆撃の先駆けと考えられており、戦略爆撃は第二次世界 大戦で本格化した。



『ゲルニカ』は、この爆撃と同じ年に、フランスに住んでいたスペインの画家パブロ・ピカソが描いた。3.5 m×7.8mの巨大な絵画である。ピカソは、ゲルニカへの無差別爆撃の非人道性を訴えるために、この街の悲惨な状況を作品に表した。

『キッズゲルニカ』とは、) (「平和」をテーマにした芸術活動

『キッズゲルニカ』は、ピカソの「ゲルニカ」と同じサイズの巨大なキャンバスに、世界の子どもたちが平和を願って絵を描くという国際子ども平和壁画プロジェクトである。国内外で注目を集めており、これまでに、世界45ヶ国以上で300点近い作品が生まれている。

参考(静岡県富士宮市立富士根南小学校の作品)

富士宮市は、このプロジェクトの趣旨に賛同。市内の小・中・高校生がキッズゲルニカを制作した。



